

MISAWA



平成18年度 事業のご報告

株 主 通 信

ミサワホームホールディングス株式会社 証券コード1722

第 4 期

平成18年4月1日から
平成19年3月31日まで

私たちミサワホームグループは
「住まいを通じて生涯のおつきあい」という精神のもと、
良質の「住まい」を提供し、豊かな社会づくりに貢献します。

経営理念

安全・快適で環境を重視した家づくり、街づくりを行います。

法令を遵守し、倫理を重んじて誠実に行動します。

地球全体を視野に入れ、環境保全活動などを行い、社会に貢献します。

企業価値の向上に努め、長期安定的な成長により、ステークホルダーとの共存共栄を実現します。

グループ社員が相互に信頼し、協力し合って能力を発揮できる職場をつくれます。

適正な財務報告・情報開示と適切なリスク管理を行います。

CONTENTS

株主・投資家の皆様へ	2
Customers First	3
MISAWA SOLUTION	5
トピックス	7
環境活動	8
新商品のご紹介	9
業績の推移	11
連結財務諸表	12
個別財務諸表	14
会社情報	15
株主メモ	16
ミサワホームグループネットワーク<営業所案内>	17

写真は、「ECO・微気候デザイン」のCENTURY「VikiCourt」

日本の四季の機微をよるこぶ。



株主・投資家の皆様へ

株主・投資家の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、ステージを「再生」から「飛躍」に移して、確たる事業基盤を構築することを目的に、平成18年8月、中長期経営ビジョン及び中期経営計画を策定いたしました。中長期経営ビジョンでは、商品力とお客様満足を最大限に高め、より多くのお客様にミサワホームの住まいに対する考え方に共感していただきたいとの思いをこめて『住まいのNo.1ブランド』を目指すことといたしました。また、中期経営計画では、平成18年度からの3カ年に実施すべき施策を定めており、「商品戦略」、「高効率化戦略」等、各種基本戦略の実行を推進しております。

なお、当期におきまして、当社の子会社において、過年度にわたる不適切な会計処理が判明し、関係各位に多大なるご迷惑をおかけしましたことは、親会社としての管理、監督が不十分であったと真摯に反省し、信頼の回復に向け、グループをあげて改善措置に取り組んでおります。

平成19年度につきましては、当社は、子会社であるミサワホーム株式会社と合併することにより、住宅関連事業の営業基盤の強化とガバナンス機能強化を図るとともに、東北ミサワホーム株式会社はミサワホーム北日本株式会社と、ミサワホーム中国株式会社はミサワホームサンイン株式会社と合併（いずれも効力発生日は本年10月1日）を予定するなど、エリア戦略の強化及び高効率化に努めてまいります。

また、当社グループでは、中長期経営ビジョン及び中期経営計画の達成に向けた活動を「Brand-New Project」と名付け、グループの総力を結集してビジョンの達成を目指しております。新たなステージに向かう当社グループの企業姿勢を具体化し、社会に向けてメッセージを発信できる住宅産業のリーディングカンパニーの構築を推進してまいります。

おかげをもちまして、当社グループは本年10月で創立40周年を迎えます。1967年の創立以来、住宅業界のパイオニアとして、日本の住まいづくりの歴史とともに歩むことができました。これもひとえに、当社グループの成長と発展を支えていただいた株主の皆様のご支援の賜と心から感謝申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役

水谷和生

NO.1 テクノロジー& ONLY1 デザインで、 カスタマーズファースト Customers First の住まいづくり。

ミサワホームは、お客様にとってのいちばんの住まいづくりのために、
一歩先のテクノロジーとデザインを追求してきました。

まったく新しい制震装置「MGEO」エムジオの開発や南極昭和基地の建物のお手伝い、
大収納空間「蔵」の発明、17年連続グッドデザイン賞受賞など
数々のNO.1、ONLY1はその成果です。

「ミサワホームの家を建てたい」、「ミサワホームの家を建ててよかった」と
思っていたくために、これからもお客様の満足を第一に考える
「Customers First」カスタマーズファーストの精神で、
あなたにいちばんの住まいづくりを応援します。

住まいを通じて生涯のおつきあい



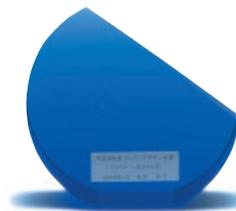
高い技術力が実現する 総合性能にすぐれたミサワホームの住まい。

住宅業界で唯一、17年連続グッドデザイン賞を受賞。

住宅の評価は機能や性能だけでなく、使いやすさ、品質、安全性、アフターメンテナンス、そしてデザインなど、トータルな要素で決まります。このような、資産価値の維持についても有利な住宅であるかどうかを判断する基準の一つに「グッドデザイン賞」があります。デザイン面を含めて社会・文化・生活という観点から評価されるデザイン評価・推奨制度。ミサワホームは、1991年に住宅として初の「グッドデザイン賞」、1996年には業界初のグッドデザ

イン・グランプリに輝きました。2006年にも、制震装置「MGEO」が地震大国・日本に大きな安心を届けるという社会的価値を認められて受賞したほか、「HYBRID ECO-design」などが受賞。これまでの受賞商品・部品は、17年連続で計33の住宅と2カ所の街づくりを含め、業界最多の計96点となりました。すぐれた技術力により、末永く安心して暮らせる総合性能の高い住まいをお届けしています。

SOLUTION



グッドデザイン・グランプリ 盾



’96～’97 グランプリ GENIUS蔵のある家

「耐震」プラス「制震」による先進の安心技術「MGEO」。

ミサワホームの住まいはもともと地震に強く、過去の大地震では全壊・半壊ゼロを確認しています。この強固な「耐震」構造に、建物の揺れを抑える「制震」技術をプラスした安全技術が、「耐震」プラス「制震」の「MGEO」です。4日間で13回の巨大地震をはじめ、計39回もの揺れを再現した実大振動実験でも、構造体の損傷はゼロ。室内の被害も、ほとんど見られませんでした。いつ襲ってくるかわからない大地震の被害から、大切な家と家族を守ります。



’06～’07 制震装置「MGEO」

暮らしをデザインする大収納空間「蔵」。

ミサワホームは10年以上も前から、心豊かに暮らす日本伝統の知恵「蔵」を現代の住まいに取り込んだ大収納空間「蔵」をご提案してきました。1階、中2階、2階など、好きな場所に設置でき、あふれるモノをまるごとしまえます。“蔵のおかげで広く暮らせる” “二世帯同居でもゆとりがある” “2階が通常より高く、採光・通風、眺望が良好” など、メリットがいっぱい。「蔵」を設けた住まいは多くのご支持をいただき、販売実績35,000棟を超えました。

※1:「蔵」は居室としての使用はできません。※2:平成18年11月現在。



南極で鍛えられた「先進の快適技術」。

南極昭和基地の建物の多くは、ミサワホームです。過酷な環境のもとで安全を確保し、快適な住空間をつくるためには、きわめて高レベルの断熱性・気密性・耐風性・堅牢性などが求められます。ミサワホームの高度工業化技術で生産された木質パネルを採用した建物は、1968年以来、延べ約5,000m²(1,512坪)にもなりました。ミサワホームは、極寒の地で鍛えられ、培われた高断熱・高气密設計などの先進技術を、日本の住まいづくりにもいかしています。



自然をいかす先人の知恵「ECO・微気候デザイン」。

日本において四季を通じて快適に暮らす伝統的な“先人の知恵”と、現代の“先進の技術・デザイン”を融合した「ECO・微気候デザイン」。ミサワホームがご提案する、日本の新しい住まい方です。自然の心地よさと自然のエネルギーを住まいに取り込むために、「通気」「陽射し」「熱」「湿度」をデザイン。エアコンに頼りすぎずに夏も冬も心地よく暮らすことができ、ご家族にも地球にもやさしいスローライフ&エコロジーを実現できます。



’06～’07 HYBRID ECO-design



’06～’07 ルーバーデザインシステム



’05～’06 CENTURY 蔵のある家



’99～’00 「M-Wood 2」 デッキ

CHS 100年住宅認定* ECO 地球環境大賞 受賞 CS 消費者志向優良企業 表彰 17年連続グッドデザイン賞 受賞

※全商品*がCHS(センチュリーハウジングシステム)によるベターリビング60型耐用住宅の対象となるシステム認定を受けました。当社が必要と認められた有料のメンテナンス及び工事を行うことにより、50年～100年間お住まいいただけます。*一部対象外の商品がございます。

住宅専門メーカーならではの NO.1のニュースをお届けしています。

ホームページ上に「ミサワシミュレーションタウン」を開設。

最近では住まいづくりを検討されるお客様は事前にインターネットで各種情報を収集しています。ミサワホームでは、住まいづくりを検討する上で役立つ情報として「ミサワシミュレーションタウン」を開設しました。「資金シミュレーション」や最適な外観・間取り・インテリアのイメージが見つかる「イメージ・サーチ・ラボ」、「ホームズ君の防犯シミュレーション」など、お客様が自ら参加し、シミュレーション形式で体験してもらうことで、ご自身にふさわしい住まいづくりについて、より一層ご理解いただくことが可能です。ミサワホームでは今後もホームページをお客様との重要なコミュニケーションツールと位置づけ、より適切にかつタイムリーに情報提供できるよう、住まいづくりのコンテンツを充実させてまいります。

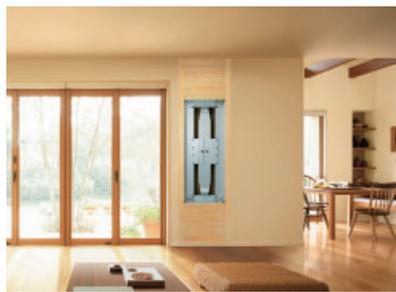


ホームズ君の防犯シミュレーション

ミサワシミュレーションタウン

「MGEO-R」が日経優秀製品・サービス賞 優秀賞を受賞。

「MGEO-R」は、ミサワホームが平成16年12月に次世代耐震構造「MGEO」を発売して以来、「既存の木造住宅にも」というお客様の強いご要望により実現した、在来木造住宅のリフォーム用制震装置です。この「MGEO-R」が2006年日経優秀製品・サービス賞 優秀賞を受賞しました。(財)日本建築防災協会からは、耐震診断及び耐震改修における「住宅等防災技術評価」(DPA-住技-10)を受け、また、(財)日本産業デザイン振興会主催の2006年度グッドデザイン賞を受賞するなど、各方面から高い評価を得ています。リフォームブランドのミサワホームイングでは、これらの受賞を機に「MGEO-R」の訴求を一層強化し、在来木造住宅にお住まいのお客様に対しても、安全・安心の住まいを提供していく考えです。



リフォーム用制震装置「MGEO-R」

住まいのテーマパーク「ミサワファクトリー福岡」がオープン。

ミサワホームは、住まいの先進技術をよりご理解いただくために、体感・実感・納得できる、今までにないテーマパークを全国展開しています。昨年9月には、東京都杉並区に「ミサワパーク東京」、岡山工場内に「ミサワファクトリー岡山」をオープン。いずれの施設も多数ご来場いただき、ご契約に結びつくなどご好評をいただいています。今回誕生した「ミサワファクトリー福岡」も、基礎や構造体がよく分かる実物大の「蔵のある家」スケルトンハウスを施設内部に設置。木質パネル接着工法をはじめ、制震装置「MGEO」などの先進技術を、どなたでも楽しみながらご理解いただける数々のコーナーを用意しており、お子様からお年寄りの方までご家族揃って楽しめる住まいづくりのテーマパークとなっています。



過酷な南極の気候を再現した写真(イメージ)



工場のパネル生産ライン



新工ネ大賞(金賞)受賞の岡山工場



鉄道輸送されるミサワホームのコンテナ

ミサワホームグループは、 さまざまな環境活動を展開しています。



ミサワホームフィンランド工場

ミサワホームは、それぞれの生産段階で、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減を追求しています。

かけがえない地球環境を守るためミサワホームでは、21世紀の企業行動理念として、1990年に「環境宣言」を発表して以来、環境保全活動にグループをあげて取り組んでまいりました。2006年に環境活動計画として「サステナブル2010」をスタート。住宅のライフスタイルにおける二酸化炭素排出量を2010年までに、1990年度比20%削減を目指します。ミサワホームの主な木材調達先は、年間

の森林成長量の75%しか伐採しない計画伐採の先進国フィンランドです。そのフィンランドに製材工場をつくり、伐採した木をまるごと活用できるシステムを構築、省資源に貢献しています。生産ラインにおいては、部材標準化の徹底や専用ラインの開発、合理化施工システムなどを推進することで、省エネルギー、省資源に努めています。環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001認証を商品

開発部門から製造工場、製材工場、木材伐採業者にいたるまで取得。また工場や施工現場での産業廃棄物ゼロを目指し、静岡工場はじめ、松本や福岡など各工場でゼロ・エミッションを達成しています。輸送段階でも、輸送手段を変更し、長距離輸送のトラックへの依存を低減してCO₂排出を抑制するなど、環境保全に貢献できる住まいづくりをすべてのプロセスを通じて行っています。



新商品 | 家族がつながる新空間提案「キッズデザイン」。

人生を豊かにするひとつ上の木質系住宅

GENIUS Link-Age・with Kids

GENIUS「Link-Age」with Kidsは、子どもの健やかな心身の発達を促し、親の時間的な負担を軽減、ふれあう時間と空間を作り出す「キッズデザイン」を採用。子どもの成長に欠かせない8つの知性を身につけやすい設計としました。想像力を伸ばす「マルチスペース」、共同作業の楽しさを学べる「ファミリーキッチン」、自立心を育む「キッズ・ユニバーサルデザイン」、家族のきずなを深める現代の床の間「ファミリーウォール」など、子どもに良好な刺激をバランスよく与えることで知性と感性を育む住環境をデザインしています。もちろん日本の伝統的な美意識を継承する外観「J-modern」スタイルをはじめ、内と外を空間としてつなぐ光あふれる「大開口サッシ」、家族のステージに応じた「可変空間設計」など、ミサワホームならではの工夫を随所に盛り込んでいます。



きずなを深める大きな吹き抜け「センターヴォイド」

新商品 | 自分らしくカスタマイズする住まい。



鉄骨ユニット「ハイブリッド住宅」

HYBRID PORTRAY

「HYBRID PORTRAY」は、断熱性・強度・遮音性などに優れる「ニューセラミック外壁」、鉄骨ラーメン構造が生み出す地震に強い「理想的な耐震構造」、大開口の設置や最大54畳ものワンルームも可能な「大空間設計」、暮らし方（ライフスタイル）やご家族の構成（ライフサイクル）の将来の変化にも構造体の強度を損なうことなく、自由に間取りを変更することが可能な「可変空間」の鉄骨ユニット「ハイブリッド住宅」。間取り変更が自由なため多彩な敷地条件に対応することができるとともに、優れたコストパフォーマンスを実現しています。

参考プランの本体価格表をベースに入カソフト「簡易積算システム」に登録されているご希望のアイテムを選択することで、金額が容易に算出され、住まいづくりのプロセスがスムーズになります。選べるファシリティアイテムも、厳選かつ洗練された設備・仕様を用意しています。



構造耐力のすぐれたユニット構法が生む、ゆとりの大空間

新商品 | 新・賃貸住宅「戸建」スタイル、誕生。

戸建賃貸で、スマートにオーナーライフ

Belle Lead CASSIYA

小規模な土地であったり敷地形状に制約があったりして賃貸住宅を建築することをあきらめていた土地でも建てられる、戸建賃貸住宅「Belle Lead Cassiya」。シンプルでシャープな外観デザインに街並みに調和する3つの屋根タイプ。居室は、家族のコミュニケーションに配慮した「センターリビング設計」。奥様に人気の対面キッチンのLDK、豊富な収納など、入居者の方にはゆったりとした生活が満喫できる戸建のづくりが好評です。また、ピッキングを防ぐディンプルキーやハンズフリーカラーTVドアホンで防犯にも配慮しています。

一方、オーナーの方にもメリットはいっぱいです。競合が少なく、高い入居率を期待できる。美しい街並みを維持できるので、資産価値が向上する。外階段・外廊下など共用部分が不要で維持管理のコスト、手間が軽減される。また分割しやすく将来の相続対策にも有効などと好評を得ています。



2階建・フラット屋根タイプ



家族が集まるゆとりのリビング

業績の推移*

■連結財務ハイライト

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(予想)	
(百万円)						中間期	通期
売上高	412,120	403,127	389,595	383,941	414,566	200,000	420,000
営業利益	31,192	30,364	18,860	17,882	13,065	3,600	12,000
経常利益	23,487	20,368	11,463	14,564	12,069	3,000	11,000
当期純利益	2,020	△129,133	△203,251	124,024	191	2,000	6,000
総資産	714,914	505,906	264,381	224,469	235,135	—	—
純資産	55,041	29,554	△163,844	22,442	26,946	—	—
(円)							
1株当たり当期純利益	5.00	△695.12	△996.92	3,844.63	5.17	53.90	161.69
1株当たり純資産額	107.43	△525.59	△1,558.80	△661.61	△683.64	—	—

(注)平成14年度は、ミサワホーム株式会社の連結決算を掲載しております。また、平成15年度は、ミサワホームホールディングス株式会社として、完全子会社となった同社の連結決算を引き継いで作成しております。

※株主通信の業績の推移について

当社は、平成18年12月28日付で証券取引法に基づき作成する有価証券報告書等(過去5年分)の訂正をいたしました。訂正は、会社法に基づき作成する計算書類等につきましては、各期毎の株主総会にて報告、承認されている決算数値を用いております。

本株主通信は、従来より証券取引法に基づき作成された数値を記載しておりましたが、継続性の観点から、引き続き同法に基づいて業績をご案内いたします。なお、会社法に基づく主な決算数値(売上高・当期純利益)の推移は、以下のとおりであります。

会社法(旧商法)に基づく決算数値(連結)

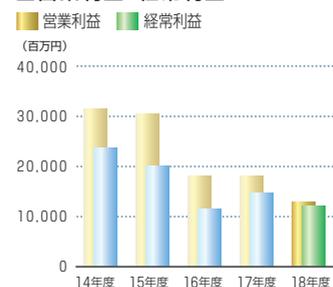
(百万円)	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
売上高	—	403,495	390,044	384,645	414,566
当期純利益	—	△128,766	△203,332	124,357	△1,565

(注)平成14年度につきましては、旧商法に基づく連結決算を作成しておりません。

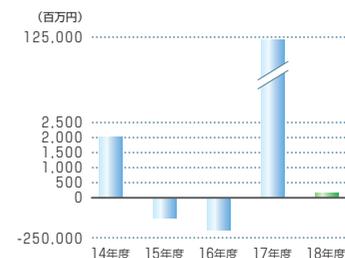
■売上高



■営業利益・経常利益



■当期純利益



■当期の業績に関するコメント

1. 当期の売上高につきましては、東北ミサワホーム株式会社の新規連結及び完工引渡し棟数の増加等により、4,145億円(前期比8.0%増)となりました。
2. 利益率の悪化と販売費及び一般管理費の増加により、経常利益は120億円(前期比17.1%減)となりました。
3. 当期純利益は1億91百万円と前期に比べ1,238億32百万円の減少となりましたが、前期は、金融機関からの金融支援による債務免除益1,133億26百万円を特別利益に計上していたことに加え、繰延税金資産を取り崩したこと等によるものであります。

連結財務諸表

■連結貸借対照表

(単位:百万円)

区分	当期 平成19年3月31日現在	前期 平成18年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	[153,585]	[134,992]
固定資産	[81,550]	[89,477]
資産合計	235,135	224,469
(負債の部)		
流動負債	[176,623]	[157,210]
固定負債	[31,566]	[42,115]
負債合計	208,189	199,325
(少数株主持分)		
少数株主持分	—	2,700
(資本の部)		
資本金	—	[23,412]
資本剰余金	—	[67,688]
利益剰余金	—	[△68,744]
土地再評価差額金	—	[2,178]
その他有価証券評価差額金	—	[2,009]
為替換算調整勘定	—	[89]
自己株式	—	[△4,192]
資本合計	—	22,442
負債・少数株主持分	—	224,469
(純資産の部)		
株主資本	[18,027]	—
資本金	23,412	—
資本剰余金	13,545	—
利益剰余金	△14,705	—
自己株式	△4,225	—
評価・換算差額等	[3,603]	—
その他有価証券評価差額金	1,265	—
土地再評価差額金	2,178	—
為替換算調整勘定	159	—
少数株主持分	[5,314]	—
純資産合計	26,946	—
負債・純資産合計	235,135	—

■連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成18年3月31日残高	23,412	67,688	△68,744	△4,192	18,165	2,009	2,178	89	4,277	2,700	25,143
連結会計年度中の変動額											
欠損てん補(注)		△54,143	54,143		—						—
当期純利益			191		191						191
自己株式の取得				△33	△33						△33
連結子会社増加に伴う剰余金減少高			△296		△296						△296
株主資本以外の項目の変動額(純額)					—	△743		70	△673	2,614	1,940
連結会計年度中の変動額合計	—	△54,143	54,038	△33	△137	△743	—	70	△673	2,614	1,802
平成19年3月31日残高	23,412	13,545	△14,705	△4,225	18,027	1,265	2,178	159	3,603	5,314	26,946

(注)平成18年6月の定時株主総会における損失処理項目であります。

■総資産と株主資本比率



■繰延税金資産の取崩しについて

前期末の繰延税金資産は、297億円であり、純資産251億円に対する割合が118%でしたが、当期末には、繰延税金資産を197億円まで取崩し、純資産269億円に対する割合を73%にまで改善しました。

■資本の部が変更されました

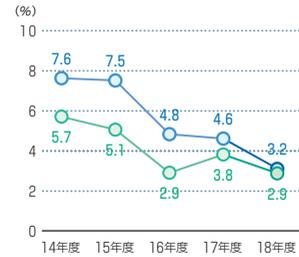
平成18年5月1日施行の会社法により、「資本の部」が廃止され、「純資産の部」が新設されました。

■株主資本等変動計算書が新設されました

会社法の施行により、株主資本等変動計算書が新設されました。当計算書は、貸借対照表の純資産の部の各項目にかかる前事業年度末から当事業年度末までの間の変動を、その変動事由とともに明らかにしています。

■売上高営業利益率と売上高経常利益率

●売上高営業利益率 ●売上高経常利益率



■1株当たり当期純利益と1株当たり純資産

■1株当たり当期純利益 ■1株当たり純資産



■連結損益計算書

(単位: 百万円)

区 分	当 期	前 期
	平成18年4月1日から平成19年3月31日まで	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで
売上高	414,566	383,941
売上原価	314,582	286,702
売上総利益	99,983	97,238
販売費及び一般管理費	86,918	79,356
営業利益	13,065	17,882
営業外収益	1,655	2,158
営業外費用	2,651	5,475
経常利益	12,069	14,564
特別利益	2,842	115,546
固定資産売却益	1,354	284
投資有価証券売却益	446	967
貸倒引当金戻入益	438	—
移転補償金	441	—
債務免除益	—	113,326
その他	161	967
特別損失	3,964	6,283
減損損失	2,060	1,906
投資有価証券評価損	638	—
固定資産処分損	390	629
たな卸資産評価損	96	646
貸倒引当金繰入額	59	775
債務保証等損失引当金繰入額	—	730
投資有価証券売却損	—	190
その他	719	1,404
税金等調整前当期純利益	10,947	123,827
法人税、住民税及び事業税	667	446
法人税等調整額	10,623	△805
少数株主利益又は損失(△)	△535	161
当期純利益	191	124,024

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

区 分	当 期	前 期
	平成18年4月1日から平成19年3月31日まで	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,225	22,834
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,004	6,096
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,307	△45,307
現金及び現金同等物に係る換算差額	16	5
現金及び現金同等物の増減額	△68	△16,370
現金及び現金同等物の期首残高	39,965	55,937
連結範囲の変動に伴う現金及び現金同等物の影響額	—	399
現金及び現金同等物の期末残高	39,896	39,965

個別財務諸表

■貸借対照表

(単位: 百万円)

区 分	当 期	前 期
	平成19年3月31日現在	平成18年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	(13,176)	(3,517)
固定資産	(35,190)	(33,663)
資産合計	48,366	37,181
(負債の部)		
流動負債	(19,599)	(314)
固定負債	(—)	(—)
負債合計	19,599	314
(資本の部)		
資本金	—	(23,412)
資本剰余金	—	(67,688)
利益剰余金	—	(△54,143)
自己株式	—	(△91)
資本合計	—	36,867
負債・資本合計	—	37,181
(純資産の部)		
株主資本	(28,767)	—
資本金	23,412	—
資本剰余金	13,545	—
利益剰余金	△8,066	—
自己株式	△124	—
純資産合計	28,767	—
負債・純資産合計	48,366	—

■損益計算書

(単位: 百万円)

区 分	当 期	前 期
	平成18年4月1日から平成19年3月31日まで	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで
営業収益	2,156	1,874
一般管理費	2,021	1,763
営業利益	134	110
営業外収益	43	132
営業外費用	1,257	278
経常損失	1,079	36
特別利益	—	124,395
特別損失	6,982	3,569
税引前当期純利益又は純損失(△)	△8,061	120,789
法人税、住民税及び事業税	4	4
当期純利益又は純損失(△)	△8,066	120,785
前期繰越損失	—	174,928
当期末処理損失	—	54,143

■「損益計算書」において当期純利益(純損失)以降の項目は、なくなりました

配当が、未処分利益の分配から、剰余金の分配へと取扱いが変わったのを受けて、当期純利益(純損失)以降の項目は、なくなりました。これまで損益計算書に記載されていた、前期繰越利益(損失)や当期末処分利益(未処分損失)といった情報は、新設された「株主資本等変動計算書」でより詳しく表現しています。

■繰越利益剰余金の欠損を解消するため、資本準備金の額を減少しました

平成19年6月28日開催の定時株主総会等決議において、資本準備金(資本剰余金)のうち、8,066百万円を減少し、繰越利益剰余金(利益剰余金)の欠損の填補に充当しました。繰越利益剰余金は、会社法施行により「当期末処分利益」と「繰越利益」に代わり、新しく追加された配当原資となる科目です。

■株主資本等変動計算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位: 百万円)

	株 主 資 本						純資産合計
	資本金	資本剰余金			自己株式		
		資本準備金	その他資本剰余金	利益剰余金			
平成18年3月31日残高	23,412	22,912	44,775	67,688	△54,143	△91	36,867
事業年度中の変動額							
欠損てん補(注)		△9,367	△44,775	△54,143	54,143		—
当期純損失					△8,066		△8,066
自己株式の取得						△33	△33
事業年度中の変動額合計	—	△9,367	△44,775	△54,143	46,076	△33	△8,099
平成19年3月31日残高	23,412	13,545	—	13,545	△8,066	△124	28,767

(注)平成18年6月の定時株主総会における損失処理項目であります。

会社情報 (平成19年3月31日現在)

■会社の概要

商号	ミサワホームホールディングス株式会社
設立	平成15年8月1日
資本金	23,412,999,000円
従業員数	201名
主な事業	グループの経営戦略・管理並びにそれらに附帯する業務
本社	東京都新宿区西新宿二丁目4番1号 新宿NSビル 03-3345-1111

■役員及び執行役員 (平成19年6月28日現在)

■取締役		■監査役		■執行役員	
代表取締役社長執行役員	水谷 和生	常勤監査役	宮森 正和	常務執行役員	土井 邦良
代表取締役専務執行役員	中神 正博	常勤監査役	児玉 隆行	常務執行役員	宮川 公策
取締役専務執行役員	佐藤 春夫	監査役	守谷 俊太郎	執行役員	赤松 哲男
取締役専務執行役員	竹中 宣雄	監査役	依藤 司	執行役員	碓井 博己
取締役常務執行役員	東海 健生			執行役員	下村 秀樹
取締役常務執行役員	西平 均			執行役員	阪口 博司
取締役執行役員	多賀 道正			執行役員	作尾 徹也
取締役執行役員	田中 博臣				
取締役	立花 貞司				
取締役	宮脇 保夫				

(注) 取締役のうち、立花貞司、宮脇保夫の両氏は、社外取締役であります。また、監査役のうち、宮森正和、守谷俊太郎及び依藤司の各氏は、社外監査役であります。平成19年6月28日開催の定時株主総会において選任された監査役の加藤輝昭、酒井征二の両氏は、ミサワホーム株式会社との合併の効力発生日(平成19年10月1日予定)にそれぞれ就任いたします。

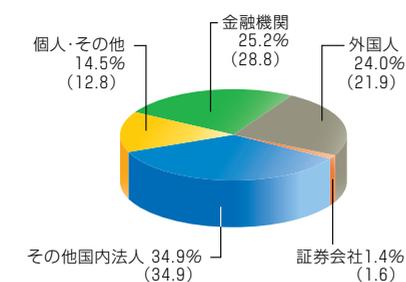
■株式の状況 (平成19年3月31日現在)

■株式	
発行可能株式総数	150,000,000株
普通株式	142,160,000株
B種優先株式	4,500,000株
C種優先株式	3,340,000株
発行済株式の総数	46,572,175株
普通株式	38,738,914株
第三回 B種優先株式	333,328株
第四回 B種優先株式	4,166,600株
第一回 C種優先株式	3,333,333株
株主総数	普通株式 18,879名
B種優先株式	1名
C種優先株式	1名

■大株主			
株主名	持株数	出資比率	
普通株式(上位10名)			
NPF-MG投資事業有限責任組合	5,593千株	14.4%	
トヨタ自動車株式会社	5,191	13.4	
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,531	6.5	
あいおい損害保険株式会社	2,458	6.3	
ジェービーモルガンチェースバンク380084	1,172	3.0	
株式会社アイ・エル・エス	826	2.1	
バンクオブニューヨークシーエムクライアント アカウンツィニアイエスジー	822	2.1	
ミサワキャピタル株式会社	734	1.8	
日本証券金融株式会社	702	1.8	
日本生命保険相互会社	609	1.5	

第三回及び第四回B種優先株式並びに第一回C種優先株式は、いずれも、株式会社三菱東京UFJ銀行が株主であります。

■所有者別持株構成(普通株式)



※()は、平成18年9月30日現在の比率

■株価及び売買高の推移



商号変更のお知らせ

当社は、平成19年5月24日開催の取締役会を経て、当社の100%子会社であるミサワホーム株式会社との間で合併契約書を締結いたしました。これに伴い、当社は、本年10月1日をもちまして、商号を「ミサワホームホールディングス株式会社」から「ミサワホーム株式会社」に変更することといたしました。ご所有の商号が「ミサワホームホールディングス株式会社」の株券につ

きましては、本年10月1日を目途に、新商号「ミサワホーム株式会社」にお引換えさせていただく旨のご案内をいたしますので、あらかじめご了承くださいます。

※なお、ご所有の株式のうち、株券が発行されていない株主名簿上の登録株式及び株券不所持申出株式、並びに株式会社証券保管振替機構への預託株式につきましては、お引換えの手続きは必要ございません。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会基準日	毎事業年度終了後3ヶ月以内
定時株主総会議決権の基準日	3月31日
期末配当受領株主確定日	3月31日
中間配当受領株主確定日	9月30日
	(このほか、必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都江東区東砂七丁目10番11号(〒137-8081)
(郵便物送付先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(お問い合わせ先)	TEL 0120-232-711(通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公告方法	電子公告(当社ホームページ www.misawa.co.jp に掲載しています。)

< 株式業務窓口 > ミサワホームホールディングス株式会社 総務人事部 総務グループ
TEL 03-3349-8070 FAX 03-5381-7835(土・日、祝日を除く午前9時~午後6時)



ミサワホームグループネットワーク

ミサワホームホールディングス株式会社 (東証、大証、名証各1部) 03-3345-1111

ミサワホーム 03-3331-1111

【木質ディーラー】

【北海道】
ミサワホーム北海道(札幌) (北海道) 011-822-1111

【東北】
ミサワホーム北日本(JASDAQ) (青森・秋田) 018-824-1111
東北ミサワホーム(東証1部) (岩手・宮城・山形) 022-724-3301
ミサワホーム福島(福島) 024-554-4111
ミサワホーム庄司(福島) 0244-24-1818
堀江ミサワホーム(福島) 0246-21-3385

【関東甲信越】
ミサワホーム下館(茨城) 0296-28-3911
栃木ミサワホーム(栃木) 028-610-0330
上信ミサワホーム(群馬) 0274-64-1385
ミサワホーム西関東(群馬・埼玉) 048-855-5711
ミサワホーム東関東(茨城・千葉) 043-245-8111
ミサワホーム館山(千葉) 0470-23-1040
旭ミサワホーム(千葉) 0479-63-7633
ミサワホーム東京(東京・神奈川) 03-5344-6811
多摩中央ミサワホーム(東京) 042-527-3383
湘南ミサワホーム(神奈川) 0466-33-6666
ミサワホーム信越(新潟・長野) 025-232-3330
ミサワホーム上越(新潟) 025-521-0330
ミサワホーム佐渡(新潟) 0259-57-3142
ミサワホーム山梨(山梨) 055-228-6565
ミサワホーム東長野(長野) 0267-68-4411

【北陸】
北陸ミサワホーム(JASDAQ) (富山・石川・福井) 076-222-1558
ミサワホーム富山(富山) 076-433-4411

【東海】
ミサワホーム静岡(静岡) 054-257-1111
ミサワホーム東海(岐阜・愛知・三重) 052-782-2131
飛騨ミサワホーム(岐阜) 0577-33-1135

【近畿】
ミサワホーム近畿(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良) 06-6341-1301
ミサワホーム杉橋(滋賀) 0740-22-3750
和歌山ミサワホーム(和歌山) 073-436-6233
ミサワホーム高階(兵庫) 0794-84-0960
ミサワホーム神田組(兵庫) 0790-45-1312

【四国】
穴吹ミサワホーム(徳島・香川・愛媛・高知) 087-868-4711
ミサワホーム小豆島(香川) 0879-62-0289

【中国】
ミサワホームサンイン(JASDAQ) (鳥取・島根) 0857-23-2000
ミサワホーム中国(JASDAQ) (岡山・広島・山口) 082-293-3111
ミサワホーム中原組(山口) 0837-23-0120

【九州】
ミサワホーム九州(福岡・長崎・熊本・大分・鹿児島) 092-431-3390
ミサワホーム佐賀(佐賀) 0952-23-7141
ミサワホーム別府(大分) 0977-22-3380
ミサワホーム宮崎(宮崎) 0985-28-6311

【セラミックディーラー】

【東北】
ミサワセラミックホーム仙台(宮城) 022-284-6011

【関東甲信越】
ミサワセラミックホーム栃木(栃木) 028-610-0330
ミサワホーム西関東セラミック(群馬・埼玉) 048-855-5761
ミサワホーム東関東セラミック(茨城・千葉) 043-309-2115
ミサワホームセラミック(埼玉・東京・神奈川) 03-3247-2060
ミサワセラミックホーム信越(新潟・長野) 025-232-3380
0263-25-9252

【北陸】
北陸ミサワホームセラミック(石川) 076-222-2205

【東海】
ミサワホームセラミック(静岡) 055-988-5330
ミサワホーム静岡セラミック(静岡) 054-257-1125
ミサワホームセラミック(愛知・岐阜) 052-769-5700
ミサワホーム東海セラミック(岐阜・愛知・三重) 052-782-2131
ミサワセラミックホーム遊(愛知) 052-322-4611
ミサワセラミックホーム三重(三重) 0598-51-5515

【近畿】
ミサワホームセラミック(滋賀・京都・大阪・奈良・兵庫) 06-6341-7655
ミサワセラミックホーム南海(和歌山) 073-436-6233
ミサワセラミックホーム和歌山(和歌山) 073-436-6255

【四国】
穴吹ミサワホームセラミック(徳島・香川・愛媛・高知) 087-868-4711

【中国】
ミサワセラミックホームサンイン(鳥取・島根) 0857-23-2000
ミサワセラミックホーム中国(岡山・広島・山口) 086-245-1212
ミサワセラミックホーム新山口(山口) 0833-71-6666

【九州】
ミサワホーム九州セラミック(福岡・熊本・大分・長崎) 092-441-1171
ミサワセラミックホーム佐賀(佐賀) 0952-23-7141
ミサワセラミックホーム宮崎(宮崎) 0985-28-6311
ミサワセラミックホーム鹿児島(鹿児島) 099-250-0338

【ホームイング】

【北海道】
ミサワホームイング北海道(北海道) 011-846-0140

【東北】
ミサワホームイング北日本(青森・秋田) 018-864-0330
ミサワホームイング東北(岩手・宮城・山形・福島) 022-284-8515

【関東甲信越】
ミサワホームイング栃木(栃木) 028-610-9364
ミサワホームイング西関東(群馬・埼玉) 048-855-5713
ミサワホームイング東関東(茨城・千葉) 043-309-2121
ミサワホームイング東京(東京・神奈川) 03-5344-7510
ミサワホームイング多摩(東京) 042-527-3387
ミサワホームイング新潟(新潟) 025-232-3340
ミサワホームイング山梨(山梨) 055-268-7750
ミサワホームイング長野(長野) 0263-54-8330

【北陸】
ミサワホームイング北陸(富山・石川・福井) 076-239-3361
ミサワホームイング富山(富山) 076-433-4412

【東海】
ミサワホームイング静岡(静岡) 054-257-1152
ミサワホームイング東海(岐阜・愛知・三重) 052-789-1717

【近畿】
ミサワホームイング近畿(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良) 06-6341-7610
ミサワホームイング和歌山(和歌山) 073-436-6233

【四国】
穴吹ミサワホームイング(徳島・香川・愛媛・高知) 087-868-4881

【中国】
ミサワホームイングサンイン(鳥取・島根) 0857-23-2000
ミサワホームイング中国(岡山・広島・山口) 086-245-0400

【九州】
ミサワホームイング九州(福岡・長崎・熊本・大分・鹿児島) 092-441-7466
ミサワホームイング佐賀(佐賀) 0952-23-7141
ミサワホームイング宮崎(宮崎) 0985-28-6311

【セラミック】
ミサワホームイングセラミック(東京・埼玉・静岡・愛知・大阪) 03-3247-8300

関連会社

ミサワホーム総合研究所 03-3332-5111
創研 03-5929-1851
ミサワエムアールディー 03-3345-7990
メディアエムジー 03-5339-8500
マザアス 04-7176-8711
ミサワテクノ 0263-58-2100

【海外】
ミサワホームフィンランド
臨沂三澤木業有限公司

生活を応援するミサワネットワーク



一般在来木造・リフォーム用「MGEO-R」



増築の新しい提案「はなれ」

リフォームのことならミサワホームイング

住まいの増改築から模様替え、暮らしの快適リフォームをトータルにお手伝いするのが「ミサワホームイング」です。木を超えるリサイクル木素材「M-Wood」「M-Wood2」による、人と自然にやさしい空間提案をはじめ、独自の「かぶせ工法」による屋根・外壁のグレードアップなど、ミサワホームイングならではの先進技術を活用して、お客様にご満足いただけるリフォームをご提案いたします。



介護専用型高齢者住宅「マザアス南柏」

住まいさがしならMISAWA-MRD

「ミサワエムアールディー」は不動産ビジネスをネットワーク事業と捉え、地域に密着した営業情報を基に、質の高い共存型ビジネスモデルを構築し提案しています。また、全国に構築された販売網とお客様のストックを通じ「不動産情報サービス事業」「賃貸管理事業」「不動産仲介事業」の3事業を中心に、不動産ビジネスの多様な課題への対応を図り、皆様のパートナーとしてお役に立つ事業展開を進めています。

介護のことならマザアス

「介護事業を通じて人づくり、住まいづくり、会社づくり」を理念とする「マザアス」は、ミサワホームがいち早く始めた介護・福祉事業として、利用者のみならず、業界においても高い評価を得ています。長年にわたる運営実績と独自に培ってきた豊富なノウハウを基に、ケアハウス・グループホーム・デイサービス・訪問介護事業など、多岐にわたる介護・福祉事業を展開しています。